

4 | 世界をリードする工業

○身の回りにあるアメリカ合衆国の製品

アメリカで開発された技術による製品：スマートフォンやタブレット、パソコンのソフトウェアなど
 →インターネットやカーナビゲーションなども生活に浸透

○重工業から先端技術産業への変化

五大湖周辺：石炭や鉄鉱石などの鉱産資源に恵まれ、重工業が発展

19世紀以降のピッツバーグ

→鉱産資源を利用した鉄鋼がつくられ、五大湖の水運で世界各国へ輸出

20世紀のデトロイト

→鉄鋼を材料とする自動車の生産が始まり、(**大量生産方式**)による自動車工業が発展

20世紀後半

→アジア諸国で生産された鉄鋼や自動車がアメリカに輸出され、アメリカは遅れをとる

→高い収益をもたらす(**先端技術産業**)に力を注ぐように変化

例) 航空機、航空宇宙産業、コンピューター関連産業、エレクトロニクス産業など

(**サンベルト** ***): 北緯 37 度より南側の地域。気候が温暖で土地が安く、石油資源や労働力が豊富
 カリフォルニア州の(**シリコンバレー** *)

→先端技術産業の研究拠点となる名門大学や、情報通信技術(ICT)関連企業が集中

○他国との結び付き

アメリカ・カナダ・メキシコの貿易の活発化

→アメリカからカナダ・メキシコへ自動車や機械などの工場が進出し、互いの結び付きを強める

＜アメリカ・カナダ・メキシコの貿易相手国(2018)＞

アメリカ		カナダ		メキシコ	
中国	16.0%	アメリカ	62.9%	アメリカ	61.3%
カナダ	14.6	中国	8.8	中国	9.9
メキシコ	14.4	メキシコ	3.8	カナダ	2.7
日本	5.2	日本	2.5	ドイツ	2.7
ドイツ	4.3	ドイツ	2.0	日本	2.3
その他	45.5	その他	20.0	その他	21.1
輸出入合計 4兆 2767 億ドル		輸出入合計 9101 億ドル		輸出入合計 9148 億ドル	

(**シェールガス**)の開発

→アメリカに多く埋蔵される天然ガスの一種で、新しい資源として注目される